



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人・珠玉の言葉」
泉麻人

×



第三十五筆

そのうちなんとかなるだろう

これは、故・青島幸男さんが作詞したクレイジーキャッツの楽曲「だまって俺について来い」の一節。仕事が忙しい時などに、ふと頭に浮かぶ言葉です。また、ちょっとした冒険をする時などに、気休めというか、わりと念ずるように使っている、好きなフレーズでもあります。まあ上手いかななくても、失敗しても、ケ・セラ・セラ(=なるようになるさの意)というような気持ちでいれば、何事も前向きに取り組むことができるような気がしてくるんです。

武田双龍

出来上がった作品を想像せず、筆が動くままに創作しています。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>